



**JASDAQ**

平成19年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社ビックカメラ  
代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
(コード番号:3048 JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役経理本部長 金澤 正晃  
TEL 03-3987-8785

### 当社子会社（株式会社ソフマップ）の中間業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社ソフマップは、平成19年4月12日付同社「平成19年2月期決算短信（連結）」にて発表いたしました同社の平成20年2月期（平成19年3月1日～平成20年2月29日）中間期の業績予想につきまして、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本日、当社におきましては「平成19年8月期通期（連結）業績予想との差異に関するお知らせ」を別途開示しております。

《添付資料：ソフマップ開示資料「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」》

以 上



平成19年10月10日

各 位

会社名 株式会社ソフマップ  
代表取締役社長 野口 進  
(コード番号2690 東証第2部)  
問合せ先 取締役財務本部長  
鈴木 和重  
TEL:03-3251-3000

### 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成19年4月12日の平成19年2月期決算発表時に公表した、平成20年2月期中間業績予想について、下記のとおり修正すると共に、同中間期における特別損失の発生についてお知らせいたします。

#### 記

1. 平成20年2月期単体中間業績予想数値の修正 (平成19年3月1日～平成20年8月31日)

(単位：百万円、%)

|                            | 売上高    | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 (A)                 | 44,000 | 280  | 230   |
| 今回発表予想 (B)                 | 46,000 | 500  | 270   |
| 増減額 (B-A)                  | 2,000  | 220  | 40    |
| 増減率 (%)                    | 4.5    | 78.6 | 17.4  |
| (ご参考)<br>前中間期実績 (平成19年2月期) | 42,582 | 216  | 218   |

2. 平成20年2月期連結中間業績予想数値の修正 (平成19年3月1日～平成20年8月31日)

(単位：百万円、%)

|                            | 売上高    | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 (A)                 | 46,000 | 300  | 250   |
| 今回発表予想 (B)                 | 48,000 | 500  | 300   |
| 増減額 (B-A)                  | 2,000  | 200  | 50    |
| 増減率 (%)                    | 4.3    | 66.7 | 20.0  |
| (ご参考)<br>前中間期実績 (平成19年2月期) | 45,453 | 297  | 229   |

### 3. 特別損失の発生の内容

(平成20年2月期単体中間決算)

子会社であるソフマップソフト株式会社(平成19年6月1日に当社へ吸収合併)において吸収合併前に実施した在庫処分セール等によって発生した営業損失、及び同社の財務内容の更なる調査を実施した結果、判明した未認識債務(買掛金)を主な原因とする抱合株式消却損として1億83百万円計上する見込みです。加えて、固定資産の売却(平成19年3月18日に開示)に伴う売買土地面積の実測により、登記上の面積との間に差異が生じたことから、売却額減少相当分等を減損損失として39百万円計上、投資有価証券評価損24百万円を計上することとなり、特別損失合計で2億48百万円計上する見込みです。

(平成20年2月期連結中間決算)

単体と同様の減損損失39百万円、投資有価証券評価損24百万円の計上が見込まれる他、上記にもあります子会社における未認識債務等を過年度損益修正損として1億35百万円計上することとなり、特別損失合計で1億99百万円計上する見込みです。

### 4. 業績予想の修正理由

(平成20年2月期中間単体業績)

春商戦、夏商戦における既存店の売上高が堅調に推移したことから、売上高で約20億円の増加を見込んでおります。商品といたしましては、主力であるパソコン関連製品が牽引し、Windows Vista 搭載新品パソコン本体をはじめ、対応周辺機器、PC パーツ、中古 Windows XP 搭載パソコンの需要増が大きく寄与いたしました。経費面におきましては、本年9月6日にオープンいたしました「秋葉原本館」、及び同13日に大幅リニューアルオープンいたしました秋葉原地区各店に係る経費の増加が見込まれておりましたが、春商戦・夏商戦における売上・利益の拡大を図ると共に、新店・再編で発生する経費のコストダウンに取り組んだことから、経常利益は2億20百万円増加する見込みです。また、上記特別損失2億48百万円の発生があるものの、当期純利益は40百万円増加する見込みです。

(平成20年2月期中間連結業績)

単体業績の影響等により、売上高で20億円の増加を見込むとともに、経常利益で2億円増加する見込みです。また、上記特別損失1億99百万円の発生があるものの、当期純利益で50百万円増加する見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、現在算定中であり、業績見込みが確定次第発表させていただきます。

※ この業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります

以上

<本件についてのお問い合わせ>

株式会社ソフマップ 経営戦略室(広報・IR)  
(電話) 03-3253-0082 (ファックス) 03-3253-4228  
(Mail) ir@sofamp.com